

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科			医 療 心 理 科	科 目 区 分	専 門 分 野	授 業 の 方 法	講 義
科 目 名			精神保健福祉総論Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年			2年	学期及び曜時限	前期 火曜3限	教室名	5校舎10階
担 当 教 員			津田大希	実務経験とその関連資格	臨床心理士・公認心理師として、関西福祉科学大学EAP研究所で心理支援に従事。		
《授業科目における学習内容》							
支援を必要とする人に対して最初に行う「インテーク面接」を実施する際の大切な知識や技術・基本的態度を学び、現場実習や卒後において、専門職者としての視点を持った関わりができるようになることを目的とする。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験の点数70% 出席点20点 提出物・受講態度10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
使用教材:パワーポイントの配布資料、映像資料、PC、プロジェクター 参考図書:その都度、ご紹介します							
《授業外における学習方法》							
講義までに前回の資料を必ず復習すること。また学んだ技術を日常生活で実践すること。							
《履修に当たっての留意点》							
ロールプレイやワークを行う機会があります。「失敗は成功の母」の通り、失敗を反省し、見直していくことでより上達していきます。失敗を恐れず、挑戦心をもって積極的に取り組んでいきましょう。また質問も大歓迎です。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ソーシャルワークにおけるインテーク面接の目的や位置づけを説明できるようになる。			PC プロジェクター 配布資料	講義前にインテーク面接について自分なりに調べること。
		各コマにおける授業予定	インテーク面接の目的や位置づけ、展開を学ぶ。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	インテーク面接前の準備について説明できる。			PC プロジェクター 配布資料	講義前に第1回の講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	インテーク面接前の心構えや準備を学ぶ。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	インテーク面接で必要な応答技法について説明できる①			PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	インテーク面接でどのように聴くのか(Howの視点)を学ぶ。				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	インテーク面接で必要な応答技法について説明できる②			PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。 マイクロカウンセリング技法を日常生活で実践すること。
		各コマにおける授業予定	インテーク面接でどのように聴くのか(Howの視点)を実践・観察する。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	インテーク面接で収集する情報を説明できる①			PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	インテーク面接で何を聴くのか(Whatの視点)を学び、なぜ聴くのか(Whyの視点)について考える。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	インテーク面接で収集する情報を説明できる②	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。 事前に配布された資料を確認すること。
		各コマにおける授業予定	ロールプレイでインテーク面接を実践・観察する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援方針の立て方について説明できる①	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	生物・心理・社会的な視点から多角的に問題を整理する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援方針の立て方について説明できる②	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	生物・心理・社会的な視点から多角的に問題を理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援方針の立て方について説明できる③	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	問題を理解した上で支援方針の立て方について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクリーニングと支援契約の締結について説明できる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	リファアーする際の知識や注意点、支援契約について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通じインテークの知識と技術を活用できる①	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	事例をもとに情報収集し、見立て、支援方針を立てる練習をする。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通じインテークの知識と技術を活用できる②	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	事例をもとに情報収集し、見立て、支援方針を立てる練習をする。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通じインテークの知識と技術を活用できる③	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	事例をもとに情報収集し、見立て、支援方針を立てる練習をする。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通じインテークの知識と技術を活用できる④	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	事例をもとに情報収集し、見立て、支援方針を立てる練習をする。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識をアウトプットできる。	PC プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を復習すること。
		各コマにおける授業予定	まとめと最終確認		